

2022年1月14日作成

Ver.1.0

家族性地中海熱の診断率向上に向けた人工知能診断システムの開発のための観察研究**1、研究の目的と意義**

家族性地中海熱(FMF)の早期診断を目的として、研究施設の既存の電子カルテ情報から患者の病歴・症状・検査結果から抽出した臨床情報を用いて、FMFの確からしさを計算する人工知能診断システムを開発することを目的としています。

自己炎症性疾患が疑われる患者さんに対して、FMF診療の非専門内科医が人工知能診断システムを利用することで、FMFの診断支援が期待されます。診断未確定の周期性発熱症例に人工知能診断システムを用いることで、FMFの早期診断につなげ、予後規定因子であるアミロイドーシスの合併を予防することが可能と考えます。

2、対象となる患者さん

2010年4月1日から2022年3月31日まで、長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科及び共同研究機関である福島県立医科大学附属病院リウマチ膠原病内科に、自己炎症性疾患が疑われて受診した患者さんを対象としています。

3、研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテで得られた臨床情報を収集し、業務委託機関である株式会社Mediiにて、人工知能解析(深層学習)・テキストマイニング手法を用いて人工知能診断システムの開発を行います。業務委託機関へは匿名化した情報を提供するので個人が特定されることはありません。

4、研究に用いる情報

- ・診断名
- ・患者背景：性別、年齢、既往歴、家族歴、近親婚の有無、月経周期との関連、月経困難症・子宮内膜症の治療歴、妊娠との関連
- ・自覚症状：周期的な発熱の有無、胸腹部痛の有無、呼吸器症状の有無、消化器症状の有無、関節痛の有無、頭痛の有無、口内炎の有無、咽頭炎あるいは扁桃炎の有無、リンパ節腫脹の有無、皮疹の有無、毛囊炎の有無、労作後の下肢痛の有無、筋痛の有無、周期的な発熱や胸腹部痛の発症時期、発作頻度、一回の発作の持続時間、その他の随伴症状の有無
- ・理学所見：頭頸部所見、胸腹部所見、四肢所見
- ・臨床検査：白血球数、白血球分画、CRP、赤血球沈降速度、血清アミロイドA蛋白
- ・コルヒチン反応性：コルヒチン投与の有無、投与量、反応性（完全寛解：発作の完全消失、部分寛解：頻度や重症度、持続期間の軽減、無効：症状の変化なし又は増悪、3ヶ月もしくはそれ以上の期間の平均発作回数）

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」

までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2025 年 3 月 31 日

6、外部への情報の提供

＜業務委託機関＞

株式会社 Medii

東京都渋谷区渋谷 2 丁目 6-6 Good Morning Building by anri 201

山田裕揮

03-6822-4970

7、研究実施体制

本研究は多機関共同研究です。

《研究代表機関／研究代表者》

長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科 川上 純

〒852-8501

長崎県長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095-819-7262

《共同研究機関／研究責任者》

福島県立医科大学附属病院 リウマチ膠原病内科／右田清志

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科 古賀智裕、辻 良香

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7262 FAX 095（849）7270

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間 ：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）